

学校教育目標の実現

進んで学び、力いっぱいやりぬく子

- ・よく考え、自ら学ぶ子 《学》
- ・思いやりがあり、心豊かな子ども 《愛》
- ・健康でたくましい子ども 《健》
- ・責任を重んじ、進んで協力する子ども 《行》



めざす学校像

「子どもの成長に寄り添い、信頼ときずなを深める学校」

～チームカワニシ 笑顔一番 わくわく・いきいき 感動体験～



研究主題

「個々の学びを高める授業のあり方」

～「主体的に関わり、どの子どもも活躍できる授業づくり～」



めざす子ども像

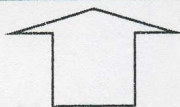
- ① 習得したことを積極的に活用し、より深く豊かに学習できる子ども
- ② 語彙力を生かし、友だちとのコミュニケーションができる子ども
- ③ 学びの広がりを感じ、次の学びへとつなげようとする子ども

授業力の向上（指導者）

- 指導方法の工夫・改善
- 見通しをもった計画
- 個々の力を高める
- 集団の力を高める

授業の改善

（どの子どもも活躍できる）



学力の向上（児童）

- 学習内容の定着
- 活用力
- 主体的に関わる力
- 学ぶ喜び

研究仮説

- ① 学習プロセスを明確にし、それに沿った学習を進めることで、学んだことを活用し、より豊かな学習ができる。
- ② 主体的に他者や外界に働きかける時間を日常のなかに設定することで、語彙力が育ち、双方向のコミュニケーション力がつく。
- ③ 学習の節目（1時間の終わり・単元の終わり）に学習をふり返ることでより深く学習内容が定着し次の学びにつながっていく。



児童の実態

- ☆まじめに学習に取り組むが、学んだことを活用する力が弱い。
- ☆資料を読み取り考えを持つことや因果関係を明確にすることが苦手。
- ☆わかりやすく相手に伝える力が、弱い。